

レジメン名	M-VAC
対象疾患名	尿路上皮がん
1クールの日数	28日
催吐性リスク	高度
その他注意事項	

No	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	生食	50mL	点滴静注	5分	day 1, 15, 22
2	生食 メソトレキセート(MTX)注	250mL 30mg/m ²		1時間	
3	生食	50mL		5分	
4	生食 硫酸Mg	500mL 10mEq		1時間	day 2
5	アクチット フロセミド注	500mL 20mg		1時間	
6	パロノセトロン注 アロカリス注 デキサート注	0.75mg 50mL 235mg 9.9mg		30分	
7	生食 シスプラチン(CDDP)注	500mL 70mg/m ²		1時間	
8	生食 エクザール(BVL)注	50mL 3mg/m ²		5分	
9	生食 ピノルビン(THP)注	50mL 30mg/m ²		5分	day 2
10	生食	500mL		1時間	day 2, (3, 4)
11	ソルアセトF	500mL		1時間	
12	アクチット	500mL		1時間	
13	デカドロン錠	4mg 2T/朝昼		内服	(3日分)

【主な副作用】

悪心、嘔吐、食欲不振、倦怠感、口内炎、腎障害、浮腫、脱毛、電解質異常、神経障害（末梢神経障害、聴力障害）、心障害

【その他注意事項】

●MTX: PPI等薬物相互作用のある薬剤多いため注意。MTX疑いの副作用を発現した場合は、ホリナートカルシウムを1回6 ~ 12mgを6時間間隔で4回筋注する。尿を酸性化する薬剤(フロセミド等)の使用は避ける。

●CDDP: 腎障害予防として、飲水指導を実施(OS-1推奨)。

●VBL: マクロライド系抗菌薬、アゾール系抗真菌薬、フェニトインと薬物相互作用あり。

●THP: 定期的に心機能の評価をする。総投与量が950mg/m²を超えると、うっ血性心不全を発現しやすくなる。